

第 2 回 恵那市総合計画審議会 会議録

日時：令和 6 年 12 月 12 日（木） 午後 3 時～

場所：恵那市役所 会議棟 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 本部長あいさつ

4 議事

（1）各種調査等の結果について（報告）

- ・各種調査等の経過について 資料 No. 1
- ・まちづくりアンケート調査結果報告 資料 No. 2
- ・将来像、基本方針設定のためのキーワード 資料 No. 3

（2）第 3 次恵那市総合計画の全体構成について 資料 No. 4

（3）第 3 次恵那市総合計画基本構想の骨子案について 資料 No. 5

5 その他

（1）今後の策定スケジュールについて 資料 No. 6

（2）次回開催予定 令和 7 年 3 月頃

6 閉会

1 開会

■事務局（進行）（企画課長）

これより令和6年度第2回恵那市総合計画審議会を開会する。私は、本日の進行を務める企画課長の和田です。よろしくお願いします。

委員 18 名。次第の 2 枚目の名簿の 12 番、西尾（綾介）委員が欠席。13 番長谷川委員は少し遅れる。18 名のうち現在 16 名の出席なので、恵那市総合計画審議会規則第 4 条の規定により、会議が成立していることを報告する。

恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき、審議会は原則公開とし、会議録も公表していく。

2 会長あいさつ

■会長

師走に入り世界情勢が急に厳しくなった。こういうときは人々の心が不安定になるものだが、こういうときこそ地域がしなやかで強く豊かでありたい。そういう地域づくりに向けて、良い総合計画を作っていきたいので、ご協力いただきたい。本日も円滑な議事進行に心掛けるのでご協力をお願いします。

3 本部長あいさつ

■本部長

12 月の忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。今日、12 月の記者会見の準備をしていた。今年のニュースを発表するが、その一覧を見ると、「住みたい田舎ランキング」で 3 万人から 5 万人の自治体の中で 1 位を獲得した。イベントでは、栗フェス、五平餅、WRC と多くのイベントが開催できたとし、10 月 20 日には市制 20 周年記念行事も開催できた。また、全ての小学校の体育館にエアコンを設置した。全国でも珍しい取り組みで、非常時にも活用できる。こういったイベントや行事も出席した皆さんの協力あってのものであり、感謝申し上げたい。

4 議事

(1) 各種調査等の結果について（報告）

- ・各種調査等の経過について 資料 No. 1
- ・まちづくりアンケート調査結果報告 資料 No. 2
- ・将来像、基本方針設定のためのキーワード 資料 No. 3

■事務局（進行）

これより議事に入る。議事進行については服部会長にお願いする。

■議長（会長）

まず議事 1 の説明をいただき、その後、議事 2、3 をまとめて説明いただく。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■議長（会長）

確認や質問があれば。

■伊藤委員

アンケート調査結果について、「住みやすいまち」に関する設問では「そう思わない」というのが上矢作が多かったが、原因は分析されているか。

■事務局

そこまで分析できていないが、上矢作は回答者の母数が少ないため、「そう思わない」の回答が少しでもあるとそちらに寄ってしまう傾向があると考えられる。

■伊藤委員

今後、原因が分かればウェブなどで知らせてほしい。

■議長（会長）

検討を進めてください。

■吉村委員

アンケート調査結果で、学校の地区分けがあるが、「大井・長島」、「武並・三郷・東野」と分かれているが、区分けの設定はどのようにしたのか。

■事務局

居住地域別として、大雑把な地区分けをしているもの。恵那市の中心部、西部、北部、南部と分けている。

■吉村委員

東野は、長島町正家と近い地域で、中学校区も東中なので、なぜ東野が「大井・長島」とセットではないのかと思った。

■越智委員

私も今の意見と同じで、「恵南地区」といっても、各地域で道路事情も違って、住みやすさや地域特性が違うと思う。恵南地区は、もう少し細分化した方が恵那市の全体像が描かれると思うので、今後の資料の改善に期待する。

■事務局

承知しました。気をつけて見やすい資料を作っていきます。

■岩井委員

内面的なアンケートはとてもいいと思うが、外部から見た恵那市というところが足りないのでは。外部からというのは難しいが、例えば移住者・定住者の意見を聞くなどにも必要と思う。「なぜ恵那に来たのか」というところにヒントがあると思うので、今後アンケートに取り入れてほしい。

■山田委員

各調査項目で、「文化」に関する設問ではやや低い値が出ている。私は文化振興会に携わって9年になるが、以前は同じ年齢層の方々が伝統芸能など昔からあるものを引き継いでいた。それが、今は縦長になり、指導的な役割の年齢層の人から小学生まで幅が広がってきている。以前は、6～7名で出演していたのが20名近くになり、小、中、高校生も入っている。そういうこともあるので、文化というのは堅苦しくて狭い意味に捉えられがちだが、五平餅でも朴葉寿司でも文化であり、長い間人の手によって受け継がれてきた。白川郷の合掌造りも、大変だと思うが未だに人から人へ受け継がれ、守られているのが文化。そういう観点からいうと、恵那でも過去に存在してきたものを人の手によって着実に受け継いできた。「20年後の恵那市」の設問では、文化・スポーツの回答が最も少なくなっているがそうじゃない捉え方も大事。人の心を豊かにし、自然の中で住みよいまちづくりをしていくことも必要と思う。

■議長（会長）

数字の見方で気を付けないといけないところがあるということだと思う。検討いただきたい。他にあるか。なければ次に進む。

（2）第3次恵那市総合計画の全体構成について 資料 No. 4

（3）第3次恵那市総合計画基本構想の骨子案について 資料 No. 5

〔事務局から資料に基づき説明〕

■議長（会長）

今日は、この基本構想についての議論をする。それに基づいて、次回は基本計画で細かい政策が出てくる。今日は大きな枠組みで気になるところについて質問、意見を頂く。

■吉村委員

現在、統計で見ても人口は減少することが予想されているが、リニアができて、大都市圏と近くなるので人口を増やせる可能性がある。そういう構想や、外国人が定住することで、今の恵那の雰囲気とどううまく整合性をとるのか、そういう人たちが困らないような配慮とかいうことに対してのことがこの中に取り入れられていない。そういうことはどうなのか。人口減少の中でも新しく産業が出来たとしても人口がなければそういう期待に応えられない。そういったことも検討しておく必要があると思う。

■事務局

今回の人口フレームは、コーホート法で機械的に推計値を表現したもの。このままだと、2045年には3万1千人ぐらいの人口規模の市になることを表したが、自治体を支えるには一定の人口が必要不可欠だとは考えている。人口減少は恵那市だけでなく全国的な課題。この流れは一つの自治体のみでは解決できないが、人口増のための事業もあるのでその辺をもっと示していくべきだというご意見だと思う。基本構想の中では具体的には表現していかないが、今後作っていく基本計画には、例えば、人口減少を食い止める事業、人口を増やす事業も示していきたい。

■吉村委員

外国人が定住することに対してはどう扱うか。検討しているか。

■議長（会長）

基本計画の中で検討していかなければいけないことだと思うが、そういう予定か。

■事務局

これから作る基本計画の中で、現状と課題の整理や、どういう対策をするかなどを表現していきたい。

■伊藤委員

リニアの活用。これは基本方針4でうたわれているが、むしろ、基本方針3のインフラ整備の方がふさわしいと思うがどうか。

また、リニアやJRの他にも明知鉄道という地域の基盤のモータリゼーションやバス路線にも触れていく必要があると思うがどうか。

■事務局

リニアの活用については、いずれの基本方針でも定めていない。複数の基本方針をまたぐものになると考えているため、基本方針3でも基本方針4でもなく横断的に取り組むという形でリニアの活用は整理している。基本計画で示していきたい。

明知鉄道は、基本方針 3 の「公共交通」に含むかたちで位置付けている。具体的な対策は基本計画の中で示す。

■議長（会長）

「リニアの活用」を含む 6 ページの一番下の 3 行が、基本方針 4 の中にあるかのように見えるから、分かりやすく書き分けないといけない。

■矢頭委員

恵那市を全国的に PR するために、何を PR するかを基本構想の中でうたっていきたいと思っている。今は、他県の方など色々な人から「恵那市はどんなところ」と言われたときに、歴史・文化がある、中山道の宿がある、岩村城、大正村などを挙げるが、それらも恵那市の特徴だと思う。付加価値を作って、全国に PR できるような構想を目指していただきたい。

■議長（会長）

シティプロモーションに関することだと思う。基本計画で検討する予定はあるか。

■事務局

基本計画で考えたい。歴史・文化も非常に重要と思っている。将来像で一言では表しきれないが、「まちが輝く」の部分に込めていきたい。

■加藤委員

公共交通について。JR の本数が少なく、利便性が悪い。私の知り合いから聞いたが、子どもが高校や大学に通うために、恵那から名古屋方面に通うのが非常に大変だということで、恵那ではないが、この辺りから、家族でもう少し名古屋に近いところへ移住した世帯があるという話を聞いた。人口減少や移住定住の話が出てきているが、高校生のアンケートからも、高校を卒業したら岐阜県ではなく名古屋圏に出ていきたいという結果が多い。高校を卒業すると恵那市を出ていき、人口減少に繋がっている。一度は恵那市を出ても将来的に戻ってきてくれるならいいが、一旦都会へ出るとなかなか戻ってこないのが現状。

恵那市内の道路事情、コミュニティバスなど必要なものもあるが、JR の本数を増やすことを要求できるのか、恵那市の計画で JR の運行について言えるのか分からないが、計画に入れられないか。リニアだと、中津川から名古屋に出てしまうし、在来線も大事な線だと思う。

■議長（会長） 鉄道の増便を JR に要請することを基本計画に入れられるかご検討いただきたい。

■沖村委員 資料 5 の 15、16 ページの産業に関するグラフについて。15 ページは第一次産業、第二次産業、第三次産業に分かれて割合が分かる。次のページでは製造業だけ取り上げてこれだけ細かく載っているのには何か理由があるのか。

■事務局

大きな意味は、分類が多いものを特に取り上げたもの。今のご指摘を踏まえてバランスよく改善していきたい。

■議長（会長）

産業誘致、工場立地を一つの課題として見ているということがあるのだと思う。

■吉村委員

教育の問題について。恵那市は山間地域で、農業では中山間地域という特色ある場所。大学や高校で林業科のある学校を作ったらどうかと思う。東濃ヒノキというすごく良い木材がある地域なので、それも今後のアピールする産業として、自慢できるものになっていくと思う。林業の機械を実際見たり、扱えたりする学校があると、そういうことをやってみたい、興味があるという若者がいれば、恵那市内だけでなく、他の地域からの流入も期待できるのでは。そして、それがきっかけで定住するという、将来に向けての取り組みもあってもいいと思う。

■議長（会長）

林業関係のキャリア教育に関することであり、基本計画の中で検討いただきたい。

今日は、主に基本計画の表現を議論いただきたい。ここに書いてないと基本計画にたどり着かないこともあり、大きな視点で足りないことがあれば述べていただきたい。また個別分野で、今後の検討の中でこういうことも盛り込んでほしいという意見も述べてほしい。

■岩井委員 2点ある。1つ目はリニアの活用について、開発誘致という文言も出ているが、どういう恵那市を作っていくかということをもう少しPRしてほしい。また、首都機能移転ではないが、東京一極集中ではなく、東京にある企業、組織の一部でいいので恵那市に来ていただき、それを受け入れること。工業団地も大事だが、事務所的な移転も大事だと思う。そういったところが恵那に来ると、雇用も生まれるので増やしてもらいたい。

2つ目は空き家について。恵那市では空き家が多くなってきている。空き家を取り壊さずまだ使えるうちに、再利用できるように仕組みや制度づくりをしてほしい。例えば、飛騨市では観光客も多いので、空き家をリフォームして、ゲストハウスとして活用している事例がある。定住まではいかないが、色んな人が気楽に寄れる場所になっているのを見たりする。基本計画には空き家対策について盛り込んでいただくといい。今のまま放っておくと、再利用できない状態になってしまう。

■議長（会長）

2つの政策提言をいただいたと思う。よろしくお願いします。

■沖村委員

基本的にはいいと思うが、第2次総合計画の目標にはある「防犯」の部分が書かれてないことが気になった。基本方針3の「安全・快適に暮らせる」だと思うが、文言として入れていただけるといいと思う。

■議長（会長）

防犯関係もお願いします。

■岩井委員

アンケート調査結果の恵那市の自慢というところに、栗きんとん、五平餅があり、恵那のすばらしい文化、食文化だと思う。その他にも、上矢作のトマトや寒天豚もある。瑞浪では、ポーノポークの販売の店舗も作られて爆発的に売れている。そういう店舗づくりの支援もすると思う。恵那市には食文化がたくさんあるので、掘り出しをしてほしい。

■議長（会長）

重要なのでお願いします。

■伊藤委員

土地利用構想について。都市拠点として「大型商業施設などを集積させる」とあるが、恵那市は商業施設自体は足りている気がする。具体的なイメージが分かれば記載してほしい。

■事務局

土地利用構想は、都市計画部門で「立地適正化計画」という計画を策定作業中で、それに準ずることになるので、まだ検討段階。委員の意見も踏まえ、ここの文言、都市拠点、地域拠点などをどうしていくか少し内部の事務局側で確認して、次回示したい。

■議長（会長）

「都市機能の集積」として「大型商業施設の集積」をしたいかどうかは書き方として検討しないといけない。

■事務局

まだ検討中のため、基本的には第2次総合計画をそのまま載せているというイメージで捉えてほしい。ご指摘のところについては検討していきます。

■伊藤委員

現実的な文言があるといいと思う。

■議長（会長）

大型商業施設の立地促進というのはイマドキではないとも思われます。

■柘植委員

「自然とともに」という最初の文言があるので、自然を守っていくという観点、横断的な面になるかもしれないが、恵那の自然は大切なものだと思うので、そういうことを大事

に考えていくというところを基本路線にしていくのも大事だと思う。

■議長（会長）

「自然とともに」が最初に来ており、それがいろいろなところに散りばめられているので、もう少ししっかり表現されると良い。

■西尾委員

自然の話に関連して。私の住んでいる地域では田んぼがたくさんあるが、田んぼの荒地が増えている。道路から草だらけになっているところがある。そういうのがきれいになっていくといい。通り道がきれいだといいいところだと思ってもらえる。

■議長（会長）

耕作放棄地、景観形成のこともよく検討してください。

■樋田委員

関連して、恵那市は山もあり田んぼもある。その境目に産業を入れていくというのはどうか。物を作る、例えば栗などの恵那市の名産物を育てる。そうすると、人が要る。人を雇うと人口も多少は増えていくし、産業も繋がっていく。大型の商業施設を入れていくのも一つの手だが、地元の自然を活かしてそれを上手に育てていく、荒地を活用して物を作っていく。そうすれば人が使えるようになるのかなと思う。

もう一つ。恵那南高校があるが、生徒数があまり多くなく、減っていて、2 クラスしかない。県の方針では、1 つの学年に 3 クラス以上ないと廃校にするという方針があるという。だが、恵那市はぜひ残してほしいと県に要請して、今残っている状況。その高校に留学生を募集してはどうか。地域産業、名産物を作る生徒を募集するとか。そうすると、生徒を泊める寮が要る。寮には食事が必要になる。そこに栄養士や食べ物を作る人を雇える。そうすると働き場所が増える。そういう構想を持つと良いと思う。人口減少が悪いということばかりではないと思うが、人口減少を止めることと同時に人を恵那市に呼ぶ策を考えることが大事だと思う。

■議長（会長）

「自然とともに」のところで、事業の視点でご意見をいただいたと思います。

■長谷川委員

私が関わっている中で、これからの構想の中に考えとして入れていただきたいことが 2 点ある。

1 つ目は駅前商店街の振興について。商店街では「まちなか市」という商店街を元気にしようというイベントが 10 年以上続いている。イベントは成り立っているが、実際の商店街はシャッターが多く下りている。イベントのときだけでもシャッターを開けて場所を使わせていただくという取り組みもしているが、住居も兼ねている場合が多く、貸してい

ただくにあたってのやりとりが、なかなか難しい。中学生と一緒に活動しているが、苦戦しているところ。商店街を元気にしようという気持ちはあるが、環境として、商店街に住んでいる人とのやりとりが難しい。私は住んでないが、何とかならないかと思う。大型商業施設も住みやすい環境のためには必要だが、元々あるものの大切さについて、もう一度皆さんで考えてほしいと思う。その辺りを取組の一つとして入れてほしい。それにより、中学生、高校生が商店街に集えるようになることを期待する。

2つ目は教育について。部活動が今後なくなり、クラブに移行すると、放課後に子どもたちが過ごす場所がなくなるのではと心配。学校の先生方が一生懸命考えて、代わりになるものを探してくださっている。保護者も今後を心配しているし、子どもたちのやりがいの問題もある。部活動がクラブになると、お金も時間も必要になり、大変。その辺が不透明なので、話が進んでいるが、目の前の問題としてここに入れていただきたい。

■議長（会長）

現場の視点で課題が提示された。

■鵜飼委員

基本方針はこれでいいと思う。特に子育て支援については、私も小学生の子供がいる親として、いろいろパッケージを組んで恵那市が取り組んでいることはすごく感じる。自分が乳幼児を抱えているとき、こういう支援があったら良かったなと思う。また、それが基本方針の一番上に来ているのも大切な視点だと思う。

また、恵那市はSDGsの取組に重点を置いていて、重点プロジェクトにも入っている。基本方針2にも、高齢者、障がい者の福祉、方針1では子供に関する福祉があるが、LGBTやマイノリティーのことも重要だと思う。20年間の構想でもあるので、高校生アンケートで性別を「答えたくない」と回答した高校生が一定数いるが、その子たちが40歳になったとき安心できるよう、言葉をしっかり入れてほしい。

■議長（会長）

検討をお願いします。

■岡田委員

林業関係に従事している。皆さんが自然のことを心配してくれありがたい思い。基本方針の書き方はいいと思う。あまり細かくやると難しいし、恵那市単体でやれることと、県などの協力でやることとか、いろいろある。例えば、林業科を作ったらどうかということも、南高校の生徒数から考えても、作っても多分1、2人しか入ってこないのではと思う。現状としては、恵那農高で林業体験をやって、興味を持った人が美濃市にある県立森林文化アカデミーで2年間学び、恵那に帰ってくるというのをモデルケースとしてやっていこうと思う。大体2人ぐらい来てくれそうな見込みもある。どこまで他の事業体と絡むものを載せるのか、単体でやっていくことだけ載せるのか、どうするのが課題と思う。

■越智委員

基本方針の並びはこの題目でいいと思う。基本計画でさらに細分化されて、そこを揉むのだと思っている。恵那市は、中山道の 46 番目の宿場で、伝統、歴史に魅力あるものが詰まっているので、それを基本方針に入れることも検討してほしい。

また、市が行う政策は、弱い部分を補う視点が主になると思うが、今恵那市に住み暮らす市民が対象であると思うので、市民に身近な部分である子育て・教育・スポーツに関することをもう少し盛り込めたらいい。アイデアが出たら伝えたい。

■議長（会長）

私から 3 点。

1 つ目は、将来像の「人」がひらがなの漢字なのか。どちらにするか検討してほしい。「まち」がひらがなだから「人」もひらがなでもいいかなという気もしないでもない。

2 つ目は、将来像にせつかく「自然とともに」とあるが、基本方針ではそのニュアンスが見られなくなるのが少し残念。「人が輝く」、「まちが輝く」とかタグをつけているので、タグの中に「自然とともに」も入れてはどうかと思う。

3 つ目は、SDGs は大事な視点。総合計画なので、それをしっかり入れるのは大事。どこの地域も SDGs のゴールがたくさん書いてあり、どのゴールを何で達成するかということをよく書くが、SDGs で大事なものは経済と社会と自然をいかに結びつけるかということ。将来像にまさに経済と環境と社会を結び付けていくという視点が書かれているので、SDGs との関係を図示したりして整理すると良い。それも基本構想としては書く必要があると思う。

その他、委員から意見があれば。

■沖村委員

私は移住者だからかもしれないが、恵那市がとか武並町がとかではなく、住んでいる周りの地域、隣の市も含めて、上矢作なら他県も含めて住みやすいまちになればいいと思う。恵那だけではなく周りとも協力するという視点がどこかにあるとより柔軟な考えができると思う。

■議長（会長）

広域的な連携というものだと思う。恵那市の総合計画でどこまで書けるかというのはあるが、そういう視点を今後持っていきたいというのをどこかに書けるか検討してほしい。

■矢頭委員

将来的に人口が3万にくらいに減るというデータが出ているが、やはり町の活力は、人口がだんだん増えていくことだと思う。例えば、本社機能を有する施設を呼び込むとか。特にリニアができるということは全国にPRできることだと思う。それを活かさないもったいない。若者が働ける場所をたくさん作っていきたいと感じている。

■議長（会長）

その辺りは重点プロジェクトになると思うので、しっかり書き込んでいただきたい。

■吉村委員

最近のニュースで、都市部から一番移住者が多いと言われたのが長野県佐久市というのを見た。平成の初めの佐久市はここより不便な田舎町で、人口も5万人ぐらいだったのが、今は9万7千人だというのが、これは合併によるもの。広域の行政と同じで、合併することで大きな枠組みでいろいろなことができるようになる。そういう意味では、中津川市や、明智町や飯地町と隣接している瑞浪市も一緒に入れて、総合的にも大きく捉える必要があると思う。

佐久市の人口が増えた要因として、関越道や長野新幹線ができたことや、釜飯で有名なおぎのやの本店が佐久に移転したことなどがあると思う。農山間地域だった町が、がらっと変わった。恵那市もリニアによって大きく変わると思う。それに追いつくように、それに先駆けてこういうことをしようという将来像を見据えて計画をしたらどうか。

■議長（会長）

佐久市は長野新幹線で伸びた町。恵那市と立地も似ているので参考にしてほしい。一通り意見を頂けたので事務局に返す。

5 その他

（１）今後の策定スケジュールについて 資料 No. 6

（２）次回開催予定 令和7年3月頃

■事務局（進行） 2点情報共有として連絡する。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■事務局（進行）

今日は、多くの意見をいただいた。これが基本計画に盛り込まれていく。次回3月にはそれを盛り込んだ資料をお見せし、さらに議論いただきたい。

次回開催は来年3月。またお知らせする。

6 閉会

■副会長

熱心なご議論ありがとうございました。それぞれの分野からの意見をたくさん出していただけた。次回の資料、まとめるのに大変だと思うが、次回は皆さんの意見が反映された資料を準備していただきたい。副市長が最初におっしゃったが、住みたいまちナンバーワンということや、小中高生のアンケートを見ると、小中学生はアンケートの回答が多いし、7割近くが恵那に住みたいと思っている。20年後にそういった今の小中学生が大人になったときやっぱり住んでよかったと伝えていただけるようなまちにしていきたい。

これで終了する。

〔 閉 会 〕